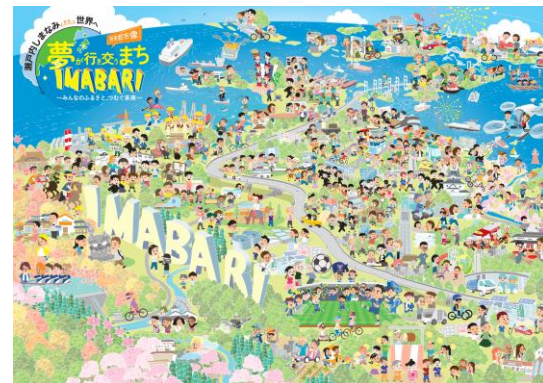


住みたい田舎日本一から 人口減少対策の全国モデルとともに



【プロジェクト名称】 子育て世代の移住・定住促進プロジェクト

愛媛県今治市 総合政策部企画政策局市民が真ん中課

登壇者：上甲 健人（主査） 発表日：2026年7月21日（火）

私たちが目指す「まちのビジョン」

ビジョン：瀬戸内しまなみから世界へ 夢が行き交うまちIMABARI
～みんなのふるさと、つむぐ未来～

総合計画との連動

第3次今治市総合計画でも「今治の未来を育む、子育て世帯への切れ目ない支援」や「移住・定住の促進～ようこそ今治・おかえり今治～」など子育て世代への支援や移住促進施策を掲げています。

今回の位置づけ

ビジョンの実現に向け、既に様々な事業へ取り組んでいますが、出生数減少・転出超過の解消に至っていません。
官民共創による新たなアイデアを取り入れ、目標達成に近づくことを望んでいます。

めざす未来の姿

プロジェクト完了後、2030年度の市内人口について「今治市人口ビジョン」の独自推計にあたる135,479人（社人研推計比+1.1%）を達成し、2050年度の人口10万人以上維持を目指します。

瀬戸内しまなみから世界へ
夢が行き交うまちIMABARI
～みんなのふるさと、つむぐ未来～



	令和2年 (2020年)	令和7年 (2025年)	令和12年 (2030年)	令和17年 (2035年)	令和22年 (2040年)	令和27年 (2045年)	令和32年 (2050年)	令和37年 (2055年)	令和42年 (2060年)	令和47年 (2065年)	令和52年 (2070年)
独自推計	151,672	143,756	135,479	127,458	119,805	112,618	106,091	99,812	93,596	87,535	81,788
パターンA (社人研推計準拠)	151,672	143,105	133,984	124,911	116,004	107,364	99,195	91,216	83,267	75,407	67,855

2 官民共創で取り組みたい地域課題



課題の定義

子育て世代が移住・定住したい、
帰ってきたいと思える環境をつくりたい

子育て世代
(日本国籍・
出身不問)

ターゲット

市内全体
(旧町村地域
含む)

対象地域

2030年度人口
135,479人
(R7国調速報値
141,735人)

KPI

具体的に困っていること

- ①：市内出身の若者が市内に回帰（Uターン）していない
- ②：出生数が加速的に減少している
- ③：医療など業界によっては労働力不足に陥っている
- ④：税収の減少によりコミュニティ機能（公共交通など）が維持困難に
- ⑤：サービス不足により「住みたいまち」の魅力が減少



「住みたい田舎」から
「住みたくない田舎」になるのでは...! ?

データで見る現状

2025年人口(※国調速報値)

141,735人

(前回(2020)比▲9,937人)

課題発生率

毎年

▲2,000人

(自然減▲1,800人、社会減▲200人)

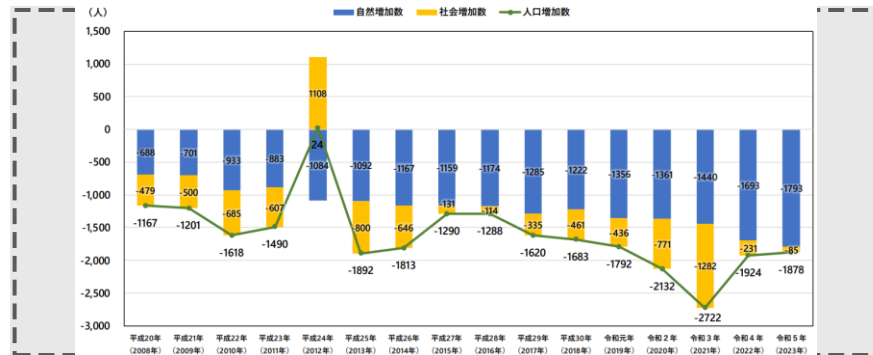
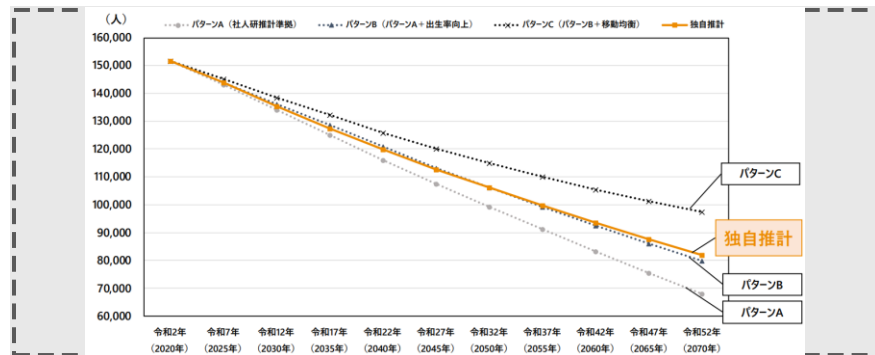
経済的損失

2050年推計人口

99,915人

(2025年比▲29.5%)

タイムリミット



※出典：今治市人口ビジョン

これまでの主な取り組み

2021年

今治版ネウボラをスタート

子育て世帯の切れ目ないサポート、遊び場サテライトの整備、ネウボラ拠点の整備構想策定

2023年

えひめ人口減少対策総合交付金の活用

県内最多のメニュー数活用、独自策としてワーキングツーリズムや島しょ部の通学支援を実施

2025年

住みたい田舎ベストランキング4年連続4冠

子育て・教育・医療などの各分野で高評価、移住施策も年々充実

課題：評価と異なる結果

× 出生数は5年間で約3割減少

× 若年層の止まらない大量転出

× 既存施策だけでは埋まらない理想像

× 真に求められる要素の調査不足

だからこそ今、民間の皆さんのアイデア・技術・ノウハウが必要です！

今治市の主な子育て支援施策（年齢変遷）

支援の必要性

支援

相談



今治版ネウボラの遊び場サテライト

みんなが笑顔に包まれる場所へ



全エリア共通
乳幼児が安心して遊べる遊び場
すくすくガーデン

障がいの有無にかかわらず
みんなで遊べるインクルーシブ遊具

いまばり 公園等 リノベーションイメージマップ

地域の特徴を生かした公園整備を行うためエリアを4つに分けました。整備は「公園利用者アンケート」の意見を盛り込みながら、子育て世代に寄り添って進めます。

凡例
● メインベース
● サブベース

シーサイドエリア

- 市外からも遊びに来たくなるインパクトのある遊具
- 広いオープンスペースを活用し親子で交流できる広場
- 愛物で親しまれる遊具



瓦のふるさと公園

すくすくガーデン

3月オープン

玉川総合公園

朝倉・玉川

フォレストエリア

朝倉緑のふるさと公園

アイランドエリア

- 子どもの遊びを通して
同世代の親子が交流できる場所
- くつろぎながら交流できる広場



安山山わくわくパーク

上浦

大三島

はかたマリナパーク

(旧方農村公園)

島しょ部

アイランドエリア

宮森

吉海

ようみバラ公園

旧市

アーバンエリア

大新田公園

市民の森

しまなおアースランド

今治子ども公園おひさまパーク

桜井総合公園

今治交通公園

すくすくガーデン

2月オープン

今治交通公園

すくすくガーデン

2月オープン

すくすくガーデン

すくすくガーデン

すくすくガーデン

すくすくガーデン

すくすくガーデン

すくすくガーデン

すくすくガーデン

すくすくガーデン

すくすくガーデン

すくすくガーデン

すくすくガーデン

すくすくガーデン

すくすくガーデン

アーバンエリア

- 幼少期から自転車に親しめるサイクルコーナー
- スケートボードの練習ができる場
- 水遊びができる場
- 周辺地域にない程々ある屋外遊具
- ドッグラン、アニマルセラビーができる場

大新田公園・桜井総合公園に
ドッグランを試験的に導入！
4月下旬オープン

4月下旬から、おもしろ自転車が
今治交通公園で楽しめるよ

4月下旬から、おもしろ自転車が
今治交通公園で楽しめるよ

4月下旬から、おもしろ自転車が
今治交通公園で楽しめるよ

4月下旬から、おもしろ自転車が
今治交通公園で楽しめるよ

4月下旬から、おもしろ自転車が
今治交通公園で楽しめるよ

4月下旬から、おもしろ自転車が
今治交通公園で楽しめるよ

4月下旬から、おもしろ自転車が
今治交通公園で楽しめるよ

4月下旬から、おもしろ自転車が
今治交通公園で楽しめるよ

4月下旬から、おもしろ自転車が
今治交通公園で楽しめるよ

4月下旬から、おもしろ自転車が
今治交通公園で楽しめるよ

4月下旬から、おもしろ自転車が
今治交通公園で楽しめるよ

4月下旬から、おもしろ自転車が
今治交通公園で楽しめるよ

4月下旬から、おもしろ自転車が
今治交通公園で楽しめるよ

4月下旬から、おもしろ自転車が
今治交通公園で楽しめるよ

4月下旬から、おもしろ自転車が
今治交通公園で楽しめるよ

4月下旬から、おもしろ自転車が
今治交通公園で楽しめるよ

4月下旬から、おもしろ自転車が
今治交通公園で楽しめるよ

4月下旬から、おもしろ自転車が
今治交通公園で楽しめるよ

4月下旬から、おもしろ自転車が
今治交通公園で楽しめるよ

4月下旬から、おもしろ自転車が
今治交通公園で楽しめるよ

4月下旬から、おもしろ自転車が
今治交通公園で楽しめるよ

4月下旬から、おもしろ自転車が
今治交通公園で楽しめるよ

4月下旬から、おもしろ自転車が
今治交通公園で楽しめるよ

4月下旬から、おもしろ自転車が
今治交通公園で楽しめるよ

4月下旬から、おもしろ自転車が
今治交通公園で楽しめるよ

4月下旬から、おもしろ自転車が
今治交通公園で楽しめるよ

4月下旬から、おもしろ自転車が
今治交通公園で楽しめるよ

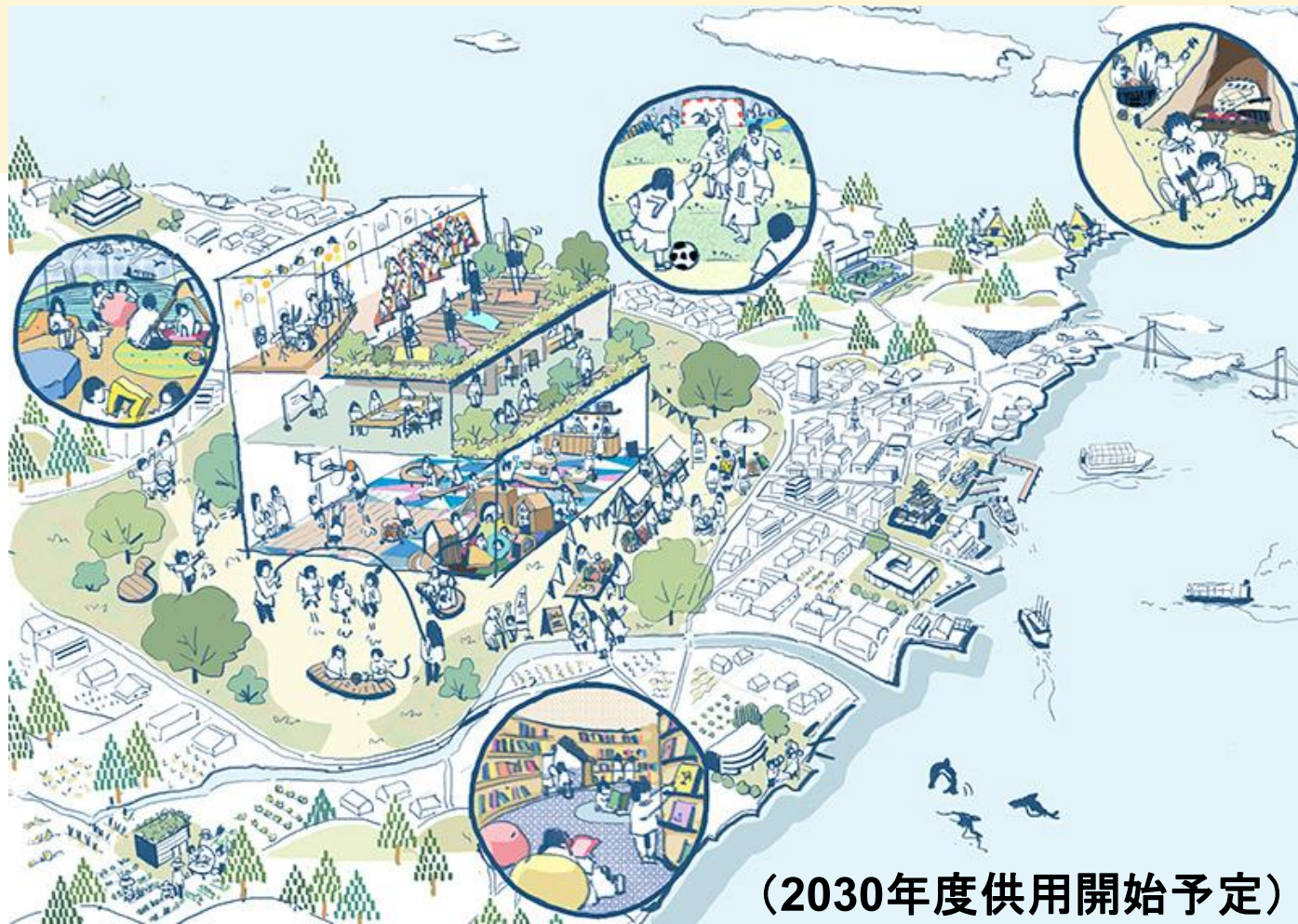
4月下旬から、おもしろ自転車が
今治交通公園で楽しめるよ

4月下旬から、おもしろ自転車が
今治交通公園で楽しめるよ

4月下旬から、おもしろ自転車が
今治交通公園で楽しめるよ

4月下旬から、おもしろ自転車が
今治交通公園で楽しめるよ





(2030年度供用開始予定)

これまでの取り組み

2021年

今治版ネウボラをスタート

子育て世帯の切れ目ないサポート、遊び場サテライトの整備、ネウボラ拠点の整備構想策定

2023年

えひめ人口減少対策総合交付金の活用

県内最多のメニュー数活用、独自策としてワーキングツーリズムや島しょ部の通学支援を実施

2025年

住みたい田舎ベストランキング4年連続4冠

子育て・教育・医療などの各分野で高評価、移住施策も年々充実

課題：評価と異なる結果

× 出生数は5年間で約3割減少

× 若年層の止まらない大量転出

× 既存施策だけでは埋まらない理想像

× 真に求められる要素の調査不足

だからこそ今、民間の皆さんのアイデア・技術・ノウハウが必要です！

えひめ人口減少対策総合交付金 メニュー等一覧

若年者転入支援

DX活用人口減少対策支援事業

若年者移住促進支援事業 ★

23
メニュー

出会い・結婚支援

結婚新生活支援事業 ★

出会いの場創出支援事業 ★



妊娠・出産支援

不妊治療費等補助事業 ★

産後ケア施設整備事業

乳幼児・保護者同時健診事業 ★

出産子育て交通費助成事業 ★

拡大新生児スクリーニング 検査費助成事業 ★

プレコンセプションケア推進事業 **新** ★



子育て支援

一時預かり拡充事業 ★

一時預かり・相談保育所等事業

出産世帯応援事業 [年齢要件撤廃・上限額増] ★

出産世帯奨学金返還支援事業 [年齢要件撤廃] ★

多子世帯リフォーム等支援事業 ★

入園予約支援事業 ★

U・I・Jターン保育士支援事業 ★

保育士宿舍借上げ支援事業

紙おむつ定額利用支援事業

ひめボス宣言事業所認証支援事業 ★

家事代行サービス利用支援事業 ★

通学困難生支援事業 ★



人口減少対策成果向上推進事業 ★

市町の新たな少子化対策の取組みを支援！ **市町独自提案制度**

R7年度～ **新**

これまでの取り組み

2021年

今治版ネウボラをスタート

子育て世帯の切れ目ないサポート、遊び場サテライトの整備、ネウボラ拠点の整備構想策定

2023年

えひめ人口減少対策総合交付金の活用

県内最多のメニュー数活用、独自策としてワーキングツーリズムや島しょ部の通学支援を実施

2025年

住みたい田舎ベストランキング4年連続4冠

子育て・教育・医療などの各分野で高評価、移住施策も年々充実

課題：評価と異なる結果

× 出生数は5年間で約3割減少

× 若年層の止まらない大量転出

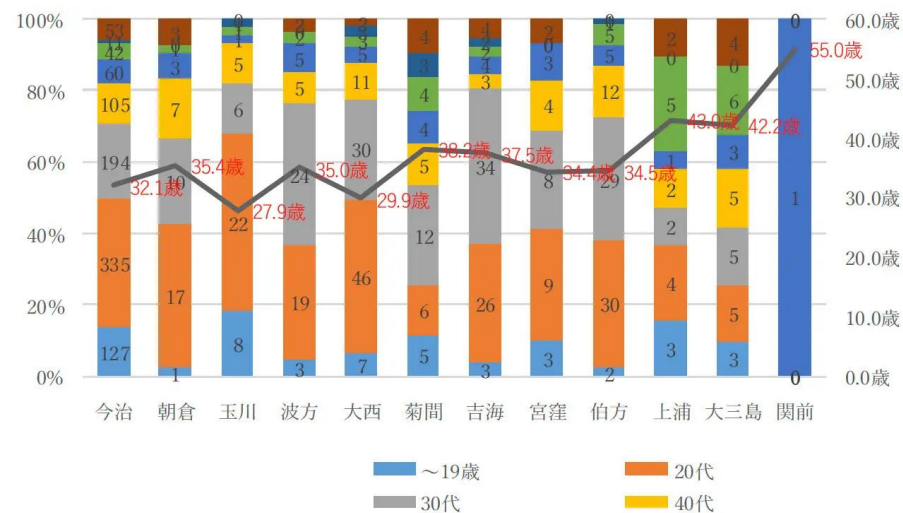
× 既存施策だけでは埋まらない理想像

× 真に求められる要素の調査不足

だからこそ今、民間の皆さんのアイデア・技術・ノウハウが必要です！



年 度		29	30	1	2	3	4
	県 内 か ら	267	237	232	233	596	772
	県 外 か ら	346	479	443	685	869	1,334
移 住 者 数 合 計		613	716	675	918	1,465	2,106
うちしまなみ移住者数		-	-	119	127	197	326



これまでの取り組み

2021年

今治版ネウボラをスタート

子育て世帯の切れ目ないサポート、遊び場サテライトの整備、ネウボラ拠点の整備構想策定

2023年

えひめ人口減少対策総合交付金の活用

県内最多のメニュー数活用、独自策としてワーキングツーリズムや島しょ部の通学支援を実施

2025年

住みたい田舎ベストランキング4年連続4冠

子育て・教育・医療などの各分野で高評価、移住施策も年々充実

課題：評価と異なる結果

× 出生数は5年間で約3割減少

× 若年層の止まらない大量転出

× 既存施策だけでは埋まらない理想像

× 真に求められる要素の調査不足

だからこそ今、民間の皆さんのアイデア・技術・ノウハウが必要です！

求めている共創パートナー

共創テーマ：子育て世代の移住・定住促進

★ 歓迎する技術

- ・ 国・県（人口減少対策総合交付金以外）の補助金を活用するもの（例：地域未来交付金など）
- ・ 既存の地域資源を活用するもの
- ・ 市が保有していない地域データの提供（例：特定の指標に関する満足度 など）
- ・ 転入超過と関連のある指標を活用した事業

❌ 求めないこと

- ・ 移住・定住との接続がない単独の雇用対策事業
- ・ 高齢者の健康増進などの人口減少抑制事業
- ・ 多額の予算を必要とするもの

今治市の強み



国家戦略特区

- ・ 四国で唯一指定を受けており、60~70項目の規制改革メニューを用意。
- ・ 実証実験に市の補助金を活用可能。
※民間主体、上限50万円



自然環境

- ・ 温暖で災害が少ない瀬戸内海式気候。
- ・ 世界有数の「多島美」を誇る。
- ・ 自然を活かした柑橘栽培や漁業が盛ん。



観光コンテンツ

- ・ しまなみサイクリング
- ・ 村上海賊などの歴史文化
- ・ F C今治
- ・ 木のおもちゃ美術館
- ・ ご当地グルメ（焼豚玉子飯など）



雇用・労働

- ・ 造船、タオル、エネルギー分野など売上高100億円以上の企業が二十数社ある。
- ・ 平均通勤時間は約13分で全国平均の約半分。



教育

- ・ 英語教育の推進、ふるさとキャリア教育、デュアルスクール など
- ・ 市内の高校数は8校
- ・ 大学も立地（獣医学部）
- ・ 私立中学校、中等教育校の選択肢も



広報

- ・ 市政広報番組（民放・県内）
- ・ LINE、Instagram、Xなど
- ・ ポータルサイト：子育て、移住、シティープロモーションなど
- ・ PRTIMES



メッセージ（結び）

担当チーム紹介



尾崎 大輔
(課長補佐)



重松 辰弥
(係長)



上甲 健人
(主査)

「今治市は多くのポテンシャルを秘めた地方都市です。人口減少対策として全国に展開可能な「今治モデル」を、是非一緒につくりましょう！」



問い合わせ先：総合政策部企画政策局市民が真ん中課 担当：尾崎、重松、上甲

TEL: 0898-36-1503 Email: simingamannaka@imabari-city.jp